

岩手県 会員病院被災状況

* 当会ウェブサイトからダウンロードできます。

http://www.nisseikyo.or.jp/home/saigai/110415_hisai.pdf

会員番号	病院名	連絡	固定電話	電気	ガス	水道	外来	転院	被災状況	対応
0301	岩手晴和病院	有	○	◎	○	◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電機で重傷者の輸液ポンプ等は維持している。 ・非常食が3日分しかない。 ・薬品:節約 ・建物:所々緩くなっている。 ・ガソリン不足のため職員が来れない。 	<p>3/28 重油・軽油:足りている。薬品:2週間分に対応。</p> <p>3/14 外来・デイケア・訪問看護等の外来診療を通常実施。入院は医療機器等の安定使用に目処がたっている。他病院・他地域からの受入れ準備OK。デイケア・デイナイトケアでは風呂の提供中。</p>
0302	釜石厚生病院	有	×	◎	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・食材が不足。 ・建物は塀が壊れる程度。 ・病棟の患者100人程を体育館に避難させた。 ・津波で家を流された職員が多数病院に寝泊り。 	<p>3/25 暖房:ボイラーが1つ故障の為、使えない場所がある。重油・軽油:足りている。薬品:2週間分に対応。食材調達:米は足りている。</p> <p>3/24 平和台病院から歯磨きセットが配送された。</p>
0303	久慈享和病院	有	○	◎	◎	◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ガスはボンベ使用(いつまでもつか不安)、水道は市から10ℓ/日ずつ支給 ・食材は1週間後位まで ・軽油とガソリンが不足 ・患者・職員の家族との連絡取れず ・病院建造物に被害無し 	<p>4/15 入院は今の所やや落ち着いており、外来も通常より若干増加傾向にあるが、対応できている。</p> <p>3/25 重油・軽油:足りている。薬品、食材調達:出来ている。</p>

0304	三陸病院	有	◎	◎	◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・特に被害なし ・薬品は1週間分確保 ・ガソリン不足のため、職員宿泊場所を検討 ・食料は数日分しかない。 	3/25 重油・軽油:足りている。薬品:2週間分 で対応。食材調達:メニューを変えて対応。
0305	胆江病院	有	○	◎	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・食材は、業者が被災地優先として いるため、買い出しに追われ、品数 を減らしている。 ・灯油(自家発電)が不足。 ・薬品:業者のガソリンなく配達でき ず。 ・建物:塀のコンクリートが一部落 下。 ・米の支給を県に依頼したら断られ た。 	3/25 重油・軽油:足りている。薬品・食材の調 達:供給できている。
0306	都南病院	有	○	◎	○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・食料は1週間程度 ・重油・軽油も入手できず時間の問 題 ・薬品:長期投与をやめ2週間分ず つ ・燃料不足により訪問看護は休止 中。 ・釜石の系列病院に応援中。 	4/10 外来・デイケア・訪問看護再開。 3/25 重油・軽油:足りている。薬品:足りてい る。食材調達:食材不足だがメニュー変更で対 応。

0307	花北病院	有	×	◎	◎	×			<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法棟が液状化で沈下 ・建物が傾き、給排水管が破損。(トイレは簡易トイレで対応) 	3/28 重油・軽油:足りている。薬品:2週間分 で対応。
0308	本館病院	有	○	◎	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・食料は今週分のみ ・重油は2週間分・軽油が足りない ・壁が一部破損 ・ガソリン不足で職員が通勤困難 ・薬:流通困難 	3/28 重油・軽油:足りている。薬品・食材の調 達:供給できている。
0309	平和台病院	有	○	◎	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・食料は3日分、その後は未定 ・重油:業者に最優先にしてもらって いる ・薬品:流通困難だが現在は足りて いる ・病院機能保持。受診可能。 	3/25 マスク・ゴム手袋・ペーパータオルが不 足(ガソリン不足で配達できない)。薬品:2週 間分 【支部の支援状況】3/24 日精協から救援物資 到着。24日に光ヶ丘保養園、釜石厚生病院、 希望ヶ丘病院に歯磨きセットを配送。25、26日 に久慈享和病院、宮古山口病院、三陸病院に 救援物資を配送予定。
0310	宮古山口病院	有	×	◎	◎	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・特に被害なし ・物資、医薬品が不足 	4/21～5/31 まで大阪医科大学より医療支援を 受ける。(医師・臨床心理士) 4/15 震災後の状態悪化による入院が20名を 超えている。 3/28 重油・軽油:足りている。薬品:2週間分 で対応 3/18 携帯のみ通じる。

0311	盛岡観山荘病院	有	○	◎	◎	○			<ul style="list-style-type: none"> ・暖房: 日中はつけないようにしている ・食材: 全て粥食に変えて対応 ・給湯は節約のため中止 ・職員の通勤をできるだけ自転車・徒歩・バスなどに。 ・患者のオムツ・トイレトペーパー不足が心配。 ・洗濯(業者)が今までどおりにいかず。 ・風呂: 週2→週1へ ・燃料不足(デイケア・訪問看護は休止中) 	3/28 重油・軽油: 節約して使用。薬品: 日数を調整して処方。トイレトペーパー: 節約して使用。
0312	六角牛病院	有	×	◎	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・食材: 市の協力で確保 ・重油: 1週間分程度 ・建物: 壁の損傷 	3/28 重油・軽油: 足りている。薬品: 2週間分に対応
0313	玉山岡本病院	有	○	◎	○	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ガス: 2週間程度 ・食材: 3日分程度 ・重油: 1週間分程度(県に要望→各自調達するよにとのこと) ・薬品: 長期投与を2週間分づつに ・建物: 換気口が2か所落ちた ・ガソリンがなく、出勤できない職員あり 	3/25 重油・軽油: 節約して使用。食材調達: 品数を減らして対応。

									・ガソリン・食事節約のため、デイケア・訪問看護は休み	
0314	希望ヶ丘病院	無	×	◎	◎	◎			・被災者避難場所になっている。 ・入院患者中心に診療中。	3/28 重油・軽油:足りている。薬品:2週間で対応。食材調達:メニューを変えて対応。 3/24 平和台病院から歯磨きセットが配送された。 ・震災当時 300 人の避難者がいたが、現在は 60 人。
0315	岩手保養院	有	○	◎	○	○			・食材:2 週間分程度 ・重油・軽油:1 週間分程度	3/25 重油・軽油:足りている。薬品:2週間分 で対応。食材調達:完全ではないがメニューを 変えて調理。 3/16 病院機能保持。受診可能。

宮城県 会員病院被災状況

会員番号	病院名	連絡	固定電話	電気	ガス	水道	外来	転院	被災状況	対応
0401	青葉病院	有(支部)		◎	◎	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> ・患者 280 名は無事。インフルエンザ集団感染は下火になっている。 ・ガソリン、燃料不足。 	<p>3/31 恵愛病院の患者 10 人受け入れ(現在受入れ患者は 35 人)</p> <p>3/25</p> <p>3/17 恵愛(伊原津)病院の患者 15 人受け入れ</p> <p>3/14 南浜中央病院の患者 10 人受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来実施(院外薬局と提携し薬は 7 日分)
0402	旭山病院	有(支部)	◎	○	×	×			<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者 100 名無事。建物一部不良有り。 ・電話回線不通だが、ファックス開通。 ・医薬品、各種燃料不足。インターネット開通。 ・発電機× ・外来は再来の患者のみの診療(3/25) 	

0403	石越病院	有(支部)	◎	◎	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・病院被害は軽微。14日より通常業務開始中。 ・病棟は恵愛病院の患者13名を受入れの為、新規入院の受入れは困難。 ・給食は近隣の支援により常食も出せるようになった。 ・外来の処方は当分の間は7日前後。(調剤薬局の流通の改善次第により変化) ・食材、ガソリンが不足。 	<p>4/12 水道は11日午前に回復し、ライフラインは全て復旧。</p> <p>4/9 電力復旧したが、断水は持続している。</p> <p>4/8 7日の地震により現在停電中。建物被害はないものの、備品の損傷や建物周囲のアスファルトの亀裂・陥没が拡大。</p> <p>4/6 外来処方は長期投与可能、ガソリン供給も改善。通院困難の方の受診も減少しているため外来は通常体制に戻している。</p> <p>4/1 恵愛病院の患者8人を受け入れた。</p> <p>3/28 病棟の給湯設備の修理が完了し入浴可能となった。薬剤(アローゼン、センノサイド)が不足。</p> <p>3/24 22日以降、外来処方が14日可能。院内薬剤も注射薬など一定量を確保。食材の調達が困難。</p> <p>3/22 登米・栗原市の障害福祉課の担当者との今後の対応について協議し、避難所や在宅の交通弱者に対し送迎による通院援助を行う予定だが、現時点では十分な外来対応が出来ていない。</p> <p>3/21 今のところ反応型の診察依頼が多く、中には中国人等の外国人も含まれて</p>
------	------	-------	---	---	---	---	--	--

										<p>いるので、言語面に対応できる医療機関が必要。</p> <p>3/20 県から軽油 1000 リットル到着。足の確保が難しく通院困難な方達の送迎に利用する予定。</p>
0404	恵愛病院(伊原津)	有(支部)	◎					完了	<ul style="list-style-type: none"> ・津波の被害甚大。孤立状態 ・患者・職員に死亡者あり。 ・83名の患者の緊急輸送が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階が津波被害。 ・孤立からは脱している。 ・患者・職員合わせて 23 名死亡 ・医薬品搬送など救護が開始された ・石越病院へ 13 名転院 ・患者全員の避難を検討中
0405	春日療養園	無	◎	◎		◎			<ul style="list-style-type: none"> ・県からの情報として、園にいないらしい ・病棟屋根の被災状況が著しく全員ホールに避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3/18 さらに古い病棟へ再避難の必要がありそう。 ・食糧事情が厳しく、19日までの分しか確保できず。 ・オムツ等の確保がなく、重症患者さんの排便等の処理ができず、衛生状態はかなり悪い。 ・新患は受入不可能。
0406	木村病院	有(支部)	◎	◎	◎	◎	△		<ul style="list-style-type: none"> ・職員、患者ともに被害無し ・外来診療:当面かかりつけ患者のみ短期間の投薬対応 ・一部渡り廊下に段差、病室内部の 	

									壁にひび割れ、建物外回りに地割れ、亀裂、液状化現象 ・ガソリン不足の為、遠方の職員が通勤不可。	
0407	国見台病院	有(支部)		◎		◎		○	・2病院から計15名を受け入れ ・処方7日分。新患には対応できない状態 ・食材とガソリンが不足。	4/1 既に通常診療に戻っているが、ガソリン不足のため遠隔地からの受診はまだ少ない
0408	小島病院	有(支部)		◎	△	◎			・外来は1~2週処方。 ・ガソリン不足は職員間で工夫しながら対応中。	5/8 日精協からの医師派遣を受け、マンパワー不足を何とか凌いでいる。 ↑ 近隣の精神科病院が震災と原発事故の影響で機能不全となっている為、患者さんが殺到。長期的な医師の派遣を要する。 4/3 福島県北部(沿岸部)~岩沼市周辺エリアから受診相談が多数寄せられている。通常診療中。 3/28 福島県北部(沿岸部)~岩沼市周辺エリアの患者から受診依頼が多くなっている。通常診療。
0409	仙南中央病院	有(支部)		◎					・患者170人分の食べ物(離乳食)・飲料水が不足	3/16 患者100名は体育館に避難。残り50名はかろうじて使用可能な病棟に入院中。

0410	台原高柳病院	有(支部)		◎		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・処方日数を短めにして外来実施(3/17) ・援助物資が到着した。 ・暖房設備とスプリンクラーが損傷。 	
0411	東北会病院	有(支部)	×				○	<ul style="list-style-type: none"> ・重油が届かず、暖房が使えない状態 ・南浜中央病院の患者10名が到着(3/14) 	4/11 通常診療を実施。
0412	光ヶ丘保養園	有(千葉)		×		△	完了	<p>1～2階津波被害、3階に340名避難 避難所に避難。今後患者の移送</p>	<p>4/15 千葉県支部にて、5/22まで交替で支援。主に入院医療(当直)を担当(飲料水なし:要 持参)</p> <p>3/29 青南病院から救援物資到着(車で配送)。</p> <p>ボイラーが復旧し暖房が使用可になる。厨房は30日から稼動。電気は復旧できておらず現在も発電機対応。</p> <p>水は断水中だが、高架水槽に補給してもらえる為、水の使用は心配なし。食材、薬剤は供給できている。今後は日用品(割り箸・紙コップ・プラスチック等)や掃除用品、人手が必要になる。</p> <p>3/24 平和台病院から歯磨きセットが配達された。</p> <p>3/20 職員が減っているため、人的な救</p>

										援が必要。
0413	こだまホスピタル	有(支部)						○	<ul style="list-style-type: none"> ・支部より連絡:孤立状態 ・家族等の避難場所としても提供 ・食料物資等が限界⇒支部事務局・厚労省に救援依頼 3/14 ・人的支援要求(佐久間先生情報) 	<p>3/27 石巻市の精神科患者の受入れの中核となっているが、外来患者、入院患者の増加で疲弊が強い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立は脱し、機能は改善された。 ・外来診療再開
0414	古川緑ヶ丘病院	有(支部)	○	◎	◎	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> ・医師・職員とも震災から働き続け。交代医要員を要請(日精看にも協力要請を) ・食料 16 日あたりでなくなる。 ・廊下に 20 センチの段差多数あり(津波被害はないが地震被害が多数あり) ・紙おむつが枯渇。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3/17 ライフライン全て復旧。通常診療実施。 ・薬が届くようになり外来一週間処方が可能(かかりつけの患者のみ) ・新患の受入れは停止。 ・燃料不足で暖房なし。
0415	三峰病院	有(支部)						◎	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素不足 ・県に酸素の供給を要請 	4/16 外来開始。光ヶ丘保養園が外来診療を停止している為、外来に患者が殺到している。職員が泊り込みで診療を続けている。
0416	緑ヶ丘病院	有(支部)		○		×	○			
0417	安田病院	有(支部)						○	<ul style="list-style-type: none"> ・自家発電と水・食料の備蓄あり ・近隣の薬局も医薬品の備蓄が少ない 	3/30 通常通りの診療。投薬の日数制限あり(河北新報より)
0418	岡本病院	無								

0419	赤坂病院	無 ×								
0420	南浜中央病院	有(支部)						完了	<ul style="list-style-type: none"> ・津波にて孤立。患者に被害なし。(厚労省より連絡) ・被害大。安田病院が支援中。 ・1階が水没し、出入りの給食業者2名が流されたが、現在、水は引いている。 ・自衛隊が応援に入り、患者(180名)・職員全員が名取市体育館に避難。患者70名が宮城県内の病院へ、他の患者の一部は山形さくら町病院に搬送が決まり、他の患者の搬送先は今のところ未定。 	<p>4/15 病院の入院・外来の診療機能は停止中。別の場所に事務所を開設している。近々、クリニックを開設し、外来患者の診療及び訪問看護を始める予定。外来開始(病院外)。</p> <p>3/15 患者の転院ほぼ完了</p>
0421	名取熊野堂病院	有(支部)					○		浸水被害あり	3/29 薬品:再来のみ2週間分まで処方。(河北新報の情報)
0422	仙南サナトリウム	有(支部)							院内避難(体育館)	
0423	佐藤病院	有(支部)	×	◎	△	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場のアスファルトに多少の亀裂等は見られるものの、現在の所、建物への大きな損傷は無し。 ・15日から3食を2食に切り替え。 ・ガソリンの入手は不可能。 ・A重油使用。給湯、暖房用。残量はあるが供給の用途は無し。入浴 	

									は中止	
0425	西仙台病院	有(支部)								通常診療を実施。
0426	東北福祉大学 せんだんホス ピタル	有(支部)		×	×	×	○		・医薬品、ガソリン、食料等の生活物 資が不足。	

福島県 会員病院被災状況

会員番号	病院名	連絡	固定電話	電気	ガス	水道	外来	転院	被災状況	対応
0701	あさかホスピタル	有	◎	◎	◎	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・患者、スタッフは無事 ・水道(貯水タンクに亀裂) ・物資が心配な状況(給油できないためトラックが入ってこない) ・食料も薬も1週間が限度 	<p>3/23 ライフライン復旧。古い病棟の使用不可。他病院の受入れは今のところなし。職員つきならば50床の古い病棟を貸し出し可。</p> <p>3/16 老健で漏水し、病棟もライフラインと安全性から計250名が安全な病棟や施設に移動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井戸水でトイレ、給水車の水で飲み水と給食を補っている。
0703	新田目病院	有		◎	◎	◎	△		<ul style="list-style-type: none"> ・甚大な被害はなし。 ・給水車でしのいでいる(渡辺康先生情報) 	<p>4/11 震度6弱の余震により再度断水状態となったが、4月13日に復旧。</p> <p>3/26 ライフラインが全て復旧</p> <p>外来診療は3月23日より午前中のみ、精神科デイケア(ショートケア)は4月1日より再開。</p>
0704	飯塚病院		◎	◎	◎	◎			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフライン復旧。 ・暖房は問題無し。薬剤は十分に供給されている。 ・食事の供給が困難。 ・入院患者に問題は無し。 	<p>3/30 浜通りの精神科病院の入院患者を数名受入れた。病床はほぼ満床。物資の調達はある程度整った。職員の通勤は、職員送迎のバス等で対応。燃料供給も進み、問題はほぼ改善。</p> <p>3/29 市内の避難所へ Dr・PSW・</p>

									CP・Ns のチームで訪問しメンタルケアのボランティア活動を開始した。
0705	泉保養院	有				◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に沿う市道の一部が通行止め ・断水 ・施設に大きな被害はない。 ・職員、入院患者に犠牲者・負傷者はいない。 	3/12 通常通りの外来診療を再開。
0706	板倉病院	有				△		水道:断水だが井戸水使用 建物被害なし ガソリン調達できず職員出勤困難	
0707	一陽会病院						◎	<ul style="list-style-type: none"> ・外来、入院とも通常体制になりつつあるが、26名の臨時入院患者を受け入れたものの、点滴の抗生剤、輸液の需要が増えたため数日分しか在庫を確保できず、身体合併症患者の入院は不可。今後の入院は、通院中の患者と保健所などの公的機関の要請で入院依頼された身体合併症のない患者以外は原則不可。 ・ガソリン不足により出勤できる 	

								職員に限られ、デイケア、訪問看護、作業療法は当面中止。 ・他院通院患者の処方は最大1週間分まで対応可(ただし、チラーヂンSは在庫がなく処方できない)。	
0708	針生ヶ丘病院	有		○	○	◎		2病棟の内1病棟に水が溜まり使用不可。 福島内に患者を一部分散。別の建物に避難 ・給湯・暖房が使用できない ・6棟使用不能 ・食料2日分 ・重油残1週間程度。調達の目処たたず。 ・ガソリン不足で、職員通勤困難	5/1 通常診療実施。 3/23 ライフライン復旧。雲雀ヶ丘病院の患者を受入れ予定。 3/22 2病棟の修繕がほぼ終わり、通所介護施設に避難していた患者80名を元の病棟に戻した。
0709	桜ヶ丘病院	有						・特に被害なし	
0710	太田西ノ内病院			◎	◎	△	○	・ライフラインはほぼ維持。 ・精神科のみ断水。精神科患者17名は新病棟に移動。	4/18 通常診療実施。
0711	清水病院	有		◎	◎	◎		水道:断水だが井戸水使用 ・病棟給水管から漏水(1ヶ所) ・病院建物に小さいひび割れが何箇所か認められるが診療に影響はない。	4/15 現在の所、派遣の必要はない。 ライフラインは復旧している。また医薬品も確保されている。

0712	寿泉堂松南病院	有		○	△	×		<ul style="list-style-type: none"> ・人的被害無し。破損著しく1・2・5病棟が使用不可。3病棟修繕可。福祉ホーム不可。 ・暖房が使用できない ・非常食は底をついた ・定員 215 名のところ、病棟が壊れそうで 90 人が戻れない。26 人は至急転院をお願いしているが、受入れ先は決まっていない。 ※避難中だが、倒壊する恐れがあり病院に戻れない患者の受入れ先については、現在調整中。 	<p>3/23 医師2名で清陵高校に避難した患者をケア。147 名の内 20 名を退院させ 30 名を外泊させた。矢吹病院に 4 名、高田病院に 2 名を転院。残り 99 名が体育館に避難。現在修繕中の3病棟にいずれ 60 名が戻る予定。残り 39 名+外泊中の約 30 名の受入れ先を探していたが、現在、矢吹病院と交渉中。</p>
0713	星ヶ丘病院	有		◎	◎	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・建物被害なし ・星総合病院より入院患者 100 名受入(内科医がパートで対応) ・15 日現在、断水が続き、重油・食料、医薬品が不足 ・ガソリン調達できず職員の交通手段に不安 	<p>4/1 通常診療実施。 3/23 ライフライン復旧。</p>

0715	竹田総合病院	有					○	<ul style="list-style-type: none"> ・建物被害は軽微。診療に影響なし。 ・通信障害があり、ガソリン、食料品が不足。 ・3/14に双葉地域の精神科病院からの転院を10数名受け入れ予定 	<p>4/15 今後、避難された方のメンタル面での診療増加に対応する為、常勤の精神科医師の派遣を要請。 ⇒厚労省:心のケアチームにて対応</p> <p>3/15 双葉病院、関連施設からの転院を15名受け入れた。個別情報、病歴の情報も乏しい(カルテ、処方資料などなし)。患者の身体状態の悪化(脱水、低栄養での衰弱)が懸念される。医療物資が不足傾向にあり、薬剤、濃厚流動食、機材、重油などが不足。</p>
0717	東北病院	有(支部)	◎	◎			×	<ul style="list-style-type: none"> ・4階建の病棟、倒壊の恐れあり。患者を同一敷地内老健施設に移動 ・3階建の管理棟 倒壊の恐れあり ・全員無事に避難済。 	<p>3/24 入浴を再開。</p> <p>3/23 に仮設病棟が建つ予定。</p> <p>3/20 倒壊を免れた既存の建物を活用して入居スペースを確保したり仮設の居住建築の増設を開始。</p>
0718	長橋病院	有	◎	◎	◎	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・建物に亀裂があるが入院生活・診療に支障なし。 ・敷地内陥没・亀裂あり ・デイケア中止(ガソリン不足・断水のため) 	<p>3/23 ライフライン復旧。外気を取り入れない暖房を使用。食料、薬剤ともに十分に供給されつつある。入院患者140名は無事。</p>

0720	西白河病院	有				×		<ul style="list-style-type: none"> ・水道管破裂 ・ボイラー故障 浄化槽破損 ・電話回線一部破損 ・建物にひび、窓ガラス破損 ・駐車場の地盤沈下 	5/1 通常診療実施。
0721	会津西病院		◎	◎	◎	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・人的、建物ともに殆ど被害無し。 ・燃料、食料品、医薬品が不足。 ・職員はガソリンが無くなった順に自転車・徒歩通勤。 	3/23 ライフラインは完全維持。双葉病院の患者 25 名を受入れ済み。
0722	雲雀ヶ丘病院	有				×	完了	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、患者は無事。 ・原発の関係で「屋内退避」 ・県に 188 名の転院先確保の要請 ・原発避難地域の職員が多く、避難命令により出勤できているか不明 	<p>3/23 ・患者 5 名を原病院(群馬)に転院。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院長が避難直後に倒れ太田西ノ内病院に入院中。 ・下郷ふれあいセンターに転院した患者 160~170 名を獨協医大の関連病院を中心に転院予定。 <p>3/17 全入院患者を栃木県立岡本台病院、下郷ふれあいセンターへ移送。下郷ふれあいセンター(TEL:0241-69-1112)には患者 160~170 名移送したが、医療施設ではないため病状悪化の対応ができず、18 日に栃精協傘下の病院に患者 50 名程を移送、サンピエール</p>

										病院に患者 15 名移送。 ・17 日で一度閉院し、代理機能を 針生ヶ丘病院に移している。
0723	福島松ヶ丘病院									支援物資は、順次到着。
0724	富士病院	有				×			・人的被害なし ・建物に若干の亀裂、ドアガラス 1 枚破損 ・駐車場の一部に地面亀裂	
0725	双葉病院	有						完了	・いわき開成病院へ 207 名転院 ⇒他院へ転院 ・転院先の決まっていた約 80 名 は原発の放射能漏れの影響で 避難所からの搬送が滞っている ・残り 147 名は未定	3/23 80 名が県内 5 病院(大学 21 名を含む)に転院。(この過程で低 体温症等で亡くなった患者が多い) 3/16 いわき開成病院へ 207 名転 院⇒県外 8 病院に 70 名が転院。 ・内科合併等の移動困難な患者は 15 日に支援可能な病院に転院。 ・残り 137 名の避難先を探してい る。

0726	舞子浜病院	有(支部)		○		×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・1階事務所・平屋施設は水没⇒患者は敷地内の老健施設に移動。外来休止。 ・2～4階は使用可能 ・人的被害無し。 ・デイケア休止(ガソリン調達できず) ・非常食が底をつき、本院より食事提供を受けていたが、放射能汚染の問題が発生し今後どうするか苦慮している ・地震により水道管が破裂。 ・ガソリン、スタッフ、衣料品、食料が不足。 ・放射性物質の流出防ぐため暖房不使用。→低体温症の患者が発生。 	<p>3/23 朝の地震で下水が噴出。渡部先生より日精協に救出支援要請あり、直ぐに厚労省へ連絡。25日に移動する予定だった竹林病院への緊急移送の方法を県対策本部で検討→移送。</p> <p>薬剤不足→竹田総合病院・薬剤ネットで供給。</p> <p>重症患者は3/22に帝京病院に搬送。</p>	
0727	四倉病院	有		◎			◎	完了	<ul style="list-style-type: none"> ・建物にひびが入った ・スタッフ、患者さんにケガはなし ・食料は足りない ・水はこれから自衛隊による配水がある予定 	<p>3/31 外来診療を再開。</p> <p>3/19 恩方病院へ入院患者38名の転院完了。</p>
0728	いわき開成病院	有				×			<p>以下の支援依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の受け入れ(できるだけたくさん) ・看護職員の応援(20名以上) 	<p>・双葉病院の患者受け入れで、一時患者数が369名になったが、福島・茨城・東京・山梨ほかに移送し、移送完了。</p>

								・双葉病院の患者受け入れ・転院協力	・断水状態が続くが、水、食料、物資は補給あり。
0729	村上病院	有				×		<ul style="list-style-type: none"> ・患者、スタッフは無事 ・水道：職員宅の井戸水でのしど ・ガソリンが不足して、通勤困難（送迎を考えるが放射線の影響で検討中） ・新病棟にひび 地割れ 他 ・暖房燃料の確保困難 	
0730	高野病院	有				◎	完了	<ul style="list-style-type: none"> ・原発の影響で避難が必要となった ・泉保養院へ転院依頼（人数不明） ・泉保養院では、スタッフ・寝具・食事等は提供できない。高野病院でスタッフ、寝具を提供できないか検討。 	<p>4/15 外来診療を再開（病院外）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者 100 名が自衛隊のヘリ等で輸送・転院完了。